



はなもみじ



屋代
小学校
春秋ごとしに句うなり

児童会立会演説会

～ 2月3日(木)来年度の児童会正副会長選挙 ～

6年生中心の児童会が、5年生へと引き継がれるときがきました。バトンを受け取る側は、責任重大。その緊張感が伝わってくる気持ちのよい演説会となりました。

3名の候補者からは、屋代小をよりよくしようと、幾つもの提案がありました。



明るく元気なあいさつの響く学校にしたい。
ゆいと祭り等で全校児童が仲良くなりたい。
掃除に力を入れて、きれいになったトイレをいつまでもきれいにしておきたい。...

選挙は、市選挙管理委員会からお借りした投票箱を使って行われました。自分たちの選んだ会長・副会長に、これからの活動を任せるのではなく、自分が児童会における役割を果たしていくことが、投票した者の責任です。

6年生の皆さん、素晴らしい児童会を築き上げてくれて、ありがとう。

5年生の皆さん、いよいよ自分の番。力を合わせ、がんばってください。

4年生の皆さん、これからの5年生の活躍の姿をしっかりと目に焼き付けて、覚えておいてください。

3年生の皆さん、来年から委員会の仲間入りですね。委員会の仕事をしっかりと覚えてください。

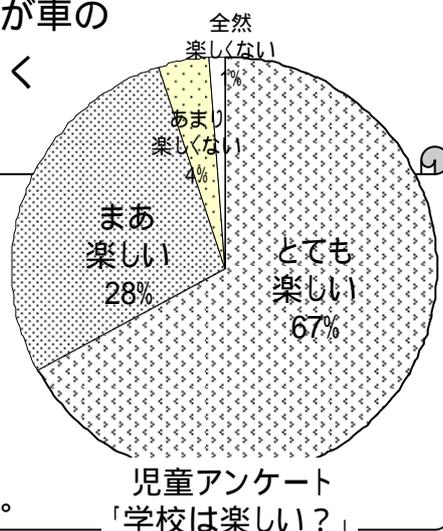
学校をよりよくしていくために、先生方の指導と児童会の自主的・自発的な活動が車の両輪となり、全校を牽引してくれることを期待しています。

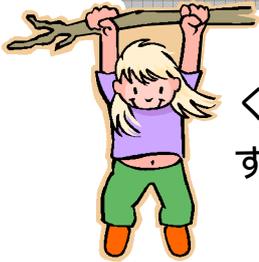


2日(水)ひまわり委員会を開催しました

ひまわり委員会：学校・家庭及び地域の協力の中で、心身共に健全な児童の育成を目指して協議を行います。

2回目となる委員会では、学校評価の結果や教育相談の現状、生徒指導上の課題等を共有し、学校・家庭・地域のそれぞれの場での指導のあり方等を協議しました。共通の願いに基づき、子どもを温かく見守っていききたいものです。





発達障害があることを本人がどう自覚し、それに向き合っていくことができるようにするか。これは、大変難しく、簡単にこうすればよいということはいえません。

まずは、しっかりした価値観を育て、自分の生き方に自信をもつことで「自分は自分でいい」と思えるようになっていくことだと思います。



自分なりの価値観を育てる



自分らしく生きるためには、**自分で考え、自分で決定、それに対して、しっかりと責任をもつ**ことが必要です。子どもから大人になるにつれ、自由が増えるとともに、それ以上の責任が負わされるのはそのためです。

自己選択・自己決定をしていくときのよりどころとなるものが、「自分なりの価値観」です。「価値観」が異なれば、当然、決定や選択されるものも異なります。価値観をしっかりともっていないと、自立はできません。



それでは、価値観を育てるものとは、いったい何なのでしょう。まずは、子どもの周りにはいる私たち大人の姿でしょう。子どもは、大人から話を聞いたり、自分の考えを聞いてもらったりする、また、大人の行動を見たり自分の行動を評価してもらったりする中で、学んでいきます。

家庭には、今、団らんは存在しているのでしょうか？ 「テレビを見ながらの食事」「ゲーム機に向き合ったままでのやり取り」「相手の顔を見ない、メールのやり取り」「個室に閉じこもっての勉強」...

こうした中、子どもたちは、何をもとにして自分をつくり上げていくのでしょうか？ 「なぜ人をいじめてはいけないか」「お金がもうかれば何をしてもいいのか」「本当の幸せとは何なのか」...



人との温かなつながりがないことにより、自分の価値観が「お金さえあれば」「できるだけ楽がしたい」「自分さえよければ」というものにかたよってってしまうことが心配です。発達障害のある子どもは、一旦間違ったことを学ぶと、それがなかなか訂正できないそうです。

家族同士、自分の思いを語り合い、ともに豊かな体験を積む中で、小学校のうちから自分なりの価値観を少しずつ育ててほしいと願います。